NPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPO

ハミング

《発行責任者》
特定非営利活動法人
青梅運行サービス
理事長　井上美都子
青梅市野上町4-5-7
スカイハイツいせひろ1F
事務局 TEL&FAX 0428-23-9970
Eメール ome_unkou@ybb.ne.jp

NPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPO

平成　１７年　８月　５日発行　　第３５号

6月22日理事会を行いました。

車両整備について
トッポは6年使い、第1線を退きました。現在プレマシーとキャラバン2台で運行を行っています。
利用はまた少しずつ増えてきており、来年には2台ではいっぱいになると予想しています。
キャラバンは5年になりますが、今はより使い勝手の良い改良された車が出てきています。
来年に備えてここで新たに車両を日本財団に申請することにしました。相乗りに対応できる10人乗りですが、車体は今のキャラバンよりは短く、乗りやすいと思います。運営協議会で認めてもらい、さらに移動困難者の足として期待に応えていきたいと思います。

＊＊

7月15日理事会を行いました。

1．運営協議会について
運営協議会の現状と見通し
運営協議会は区部と市部でそれぞれ1つ設置予定。それを4つ位のブロックに分け幹事会を設置。青梅は西多摩地区(青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町)で一つになるようだ。対象団体は当団体と瑞穂。まもなく打ち合わせに入るので、近日中に資料を用意しておく必要がある。
届出書類の整備
運行管理責任者は坂本孝輔。整備管理責任者は井上愛。奥秋自動車と蜜に連絡を取る。
利用料について
現行の利用料ガイドラインで言われているタクシーの1/2以上になっていると言われかねないので見直しをする。他の介護タクシー・福祉タクシーの料金を調べて比較。一部介助料としていただくようにするなど料金体系を考え直す。介助の必要ない人は一般のタクシーの利用ができるので、今の利用者は何らかの介助が必要だ。走っている間も気配りは欠かせない。運賃のほか、介助料・予約料・迎車料などいろいろな名称で料金を取っているところが多い。トータルで値上げにならないように料金体系を見直していく。
講習会について
7月30日と8月14日に3名が移送サービス運転協力者講習会を受ける予定。
移動NET多摩（多摩地区の移送サービス団体ネットワーク）でも一日で終了する講習会を計画するので、まだの人は追って受講してもらう。

2．ふくし祭りについて
販売は準備が大変で人手もいるので、車両展示とチラシ配布で団体のPRを図る。担当は上田初代

総会のお

その他の事項
毎年夏の運転協力者の研修会は実車の講習は度々行ってきたので、今年は会員同士の日ごろの活動を通じての意見交換を中心に行う。

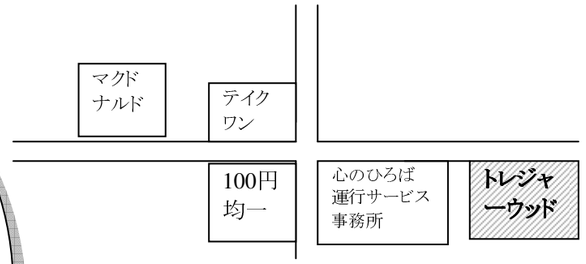
移動NET多摩の運営協議会についての勉強会（6月26日・7月7日）に出席2名
東京ハンディキャブ連絡会総会（7月10日）に出席1名

運転協力者交流会

8月22日（月）
18:30－21:00

トレジャーウッド
（青梅市野上町4－5－4）
℡　22-5390

申込　19日まで



理事になって

島村信夫

今年度より理事を拝命致しました。私が青梅運行サービスを知りましたのは青梅市広報の運転協力者募集の記事でした。定年後2年目より隔週で仕事をしていまして、残りの週はウォーキング・読書等で閑をつぶしていましたが、何かボランティアワークをしたいと思っておりました。取りあえずお話を聞いてみようかと事務所にお邪魔した所、アレヨアレヨという間に運転協力者のメンバーという事になってしまいました。以来1年7ヶ月お世話になっています。

仕事は機械関係で、監視・運転を一人で担当しています。

最少必要限度の方としか接触しませんので、運転協力者としてご利用の皆様とお会いし、お話ができますことは私としましては極めて喜びであります。

これからは理事としてより利用しやすい青梅運行サービスを運営するべく微力ではありますが尽力したいと考えておりますのでよろしくお願い致します。